



人をつなぎ、
文化芸術が交わる場所

作陶家
七尾 なな お 佳洋さん(木之本町木之本)
うた子さん よし ひろ

撮影場所: Nanao Pottery

七尾さん夫妻はともに作陶家。改修した町家に窯を構え、それぞれが特徴ある作品を生み出し続けています。二人の作品の魅力は、そこに毎日の「暮らし」があること。美術工芸品としてではなく、人の暮らしに馴染むことで、「器が育っていく」と七尾さんは話します。

二人は若くして作陶家に師事。お互いの師匠が親友だったことがきっかけで出会い、移住して結婚。20年間北海道で作陶に励みます。「情報が全く入らないほど田舎だったからこそ、ぶれずに自分のスタイルが創れた」と佳洋さんは振り返ります。

厳しい寒さの中での暮らしの大変さや、今後の活動の利便性も考えて移住を決めた二人は、親戚の縁もあって長浜で家を

探すことに。うた子さんは「この家を見て、急にイメージーションが沸きました」、佳洋さんは「街並みもいいし、子どもたちにもいい環境」とすぐに気に入って、一昨年秋、木之本に移住しました。

活発なうた子さんと温厚な佳洋さんはすぐに地域に溶け込み、次々と人が訪ねてくるように。作品展などのイベントを催したいと思っていた七尾さんに、様々な協力が集まります。「多くの人が得意分野を活かせるイベントを作れば、みんなが人を連れてきてくれる」など、いろいろな知恵をもらっています」と、うた子さんは地域の支えに感謝します。人が人を呼び、郷土料理が得意な人や本を愛する人、音楽好きや写真家など地元の人が集

まり、七尾さん宅はいつしか文化や芸術が交流する場所に。郷土料理や酒とのコラボイベント、映画の上映会を開くなど、地域を巻き込んだ活動は拡がりを見せ、「木之本に来てから、やる気が衰えることがないんです」とうた子さんは目を輝かせます。

地域に馴染みながらも、アーティストとして自らの感性を大切に二人。「目に見えないが、木之本での暮らしは作品にもおのずと現れるはず」と佳洋さん。うた子さんは「常に未完成な自分、発展途上でいたい」と語ります。

人と人をつなげ、地域に刺激を与え続ける二人の活動から、今後も目を離せません。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。



まわりのみんなに、ニコニコ笑顔を
ふりまいてくれる陽葵。これから、
みんなの元気の素になってください。

小竹
陽葵ちゃん (平成27年8月生まれ)
(神照町)



よく食べ、よく遊び、よく笑い、
毎日たくさんのお幸せをありがとう♡
これからもすくすく育ってね！！

松井
樹愛ちゃん (平成27年8月生まれ)
(新庄寺町)

まちの人口	平成29年4月1日現在	人口 119,748人	男 58,578人	女 61,170人	世帯数 45,096世帯
	平成29年3月中の異動	転入 535人	転出 695人	出生 71人	死亡 122人 婚姻 57件



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。点字広報、声の広報をご希望の人は市民広報課まで。